

# 駅ホームと車両の 段差・隙間に関する意識調査

2024年11月1日



# 目次

---

- 1. 概要 .. P.02 ~ 06
- 2. 総括 .. P.07 ~ 08
- 3. 調査結果 .. P.09 ~ 13

# 1. 概要

## 概要

	内容
概要 目的	鉄道ホームと車両の間にある段差や隙間は、障害のある方にとって外出や鉄道利用のハードルの一つになっている。多様な方が安心して鉄道を利用し、自由に外出できる環境を整備していくため、障害のある方が段差や隙間に対してどのように感じているかを把握する意識調査を実施した。
調査手法	ウェブアンケート調査
調査日	2023年10月2日(月)～2023年11月2日(木)
回答数	合計2,602名 ※内訳(単一回答) <ul style="list-style-type: none"><li>・ 上肢障害 : 159名</li><li>・ 下肢障害 : 367名</li><li>・ 体幹障害 : 71名</li><li>・ 視覚障害(全盲): 9名</li><li>・ 視覚障害(弱視): 55名</li><li>・ 聴覚障害 : 89名</li><li>・ 内部障害 : 429名</li><li>・ 知的障害 : 202名</li><li>・ 精神障害 : 864名</li><li>・ 発達障害 : 357名</li></ul>
対象者条件	・ 障害のある方(障害種別不問)
調査項目	・ 属性情報(年代、障害種別など) ・ 電車の車両と駅ホームの段差・隙間対策について(段差・隙間への恐怖心有無、サポートの必要性、乗降しやすさなど) ※別途詳細参照

# 調査票

---

## 【Q1】障害種別

あなたに最もあてはまる障害種別を教えてください。(単一回答)

1. 上肢障害
2. 下肢障害
3. 体幹障害
4. 視覚障害(全盲)
5. 視覚障害(弱視)
6. 聴覚障害
7. 内部障害
8. 知的障害
9. 精神障害
10. 発達障害
11. その他(自由記述)
12. 障害はない

## 【Q2】車いす使用有無

あなたは車いすユーザーですか。(単一回答)

1. 車いすユーザーである
2. 車いすユーザーではない

## 【Q3】主な利用路線

あなたの普段の電車の利用路線を教えてください。(自由記述)

## 【Q4】段差・隙間への恐怖心有無

あなたは、電車に乗車する際、プラットホームと列車との段差・隙間に対して恐怖を感じますか。(単一回答)

1. 強く恐怖を感じる
2. 恐怖を感じる
3. 恐怖を感じない
4. どちらともいえない

## 調査票

---

### 【Q5】 段差・隙間対策がない場合のサポートの必要性

電車の車両と駅ホームの段差・隙間対策がされていない場合、サポートが必要だと感じますか。(単一回答)

1. 強く必要性を感じる
2. 必要性を感じる
3. 必要性を感じない
4. どちらともいえない

### 【Q6】 段差・隙間対策有無による乗降しやすさ比較

段差・隙間をなるべく無くすような対策を行っているホームでは、段差・隙間のあるホームに比べて乗降のしやすさは異なりますか。(単一回答)

1. とても乗降しやすい
2. 乗降しやすい
3. 利用したことがない
4. どちらともいえない

### 【Q7】 段差・隙間対策への意向

今後、段差・隙間対策を行っている駅ホームの乗車口が増えて欲しいと思いますか。(単一回答)

1. 強く増えて行って欲しいと思う
2. 増えて行って欲しいと思う
3. 増えて行って欲しいと思わない
4. どちらともいえない

### 【Q8】 年代

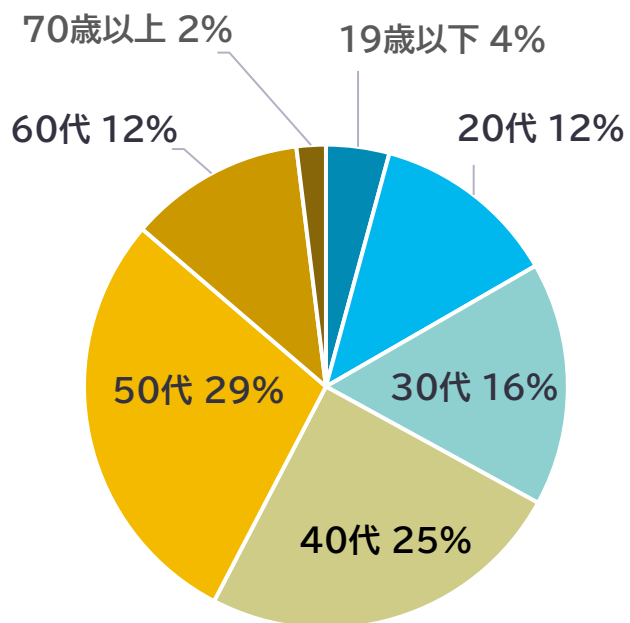
あなたの年代を教えてください。(単一回答)

1. 19歳以下
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70歳以上

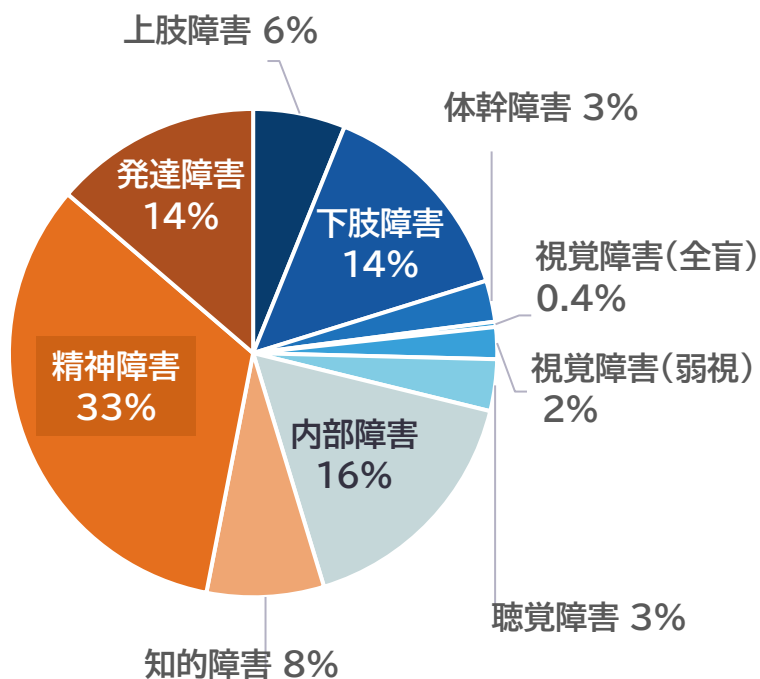
## 回答者属性

- ① 年代は「50代(29%)」「40代(25%)」「30代(16%)」の順に多い。
- ② 障害種別は「精神障害(33%)」「内部障害(16%)」「下肢障害(14%)」「発達障害(14%)」の順に多い。
- ③ 全体で車いすユーザーは5%である。

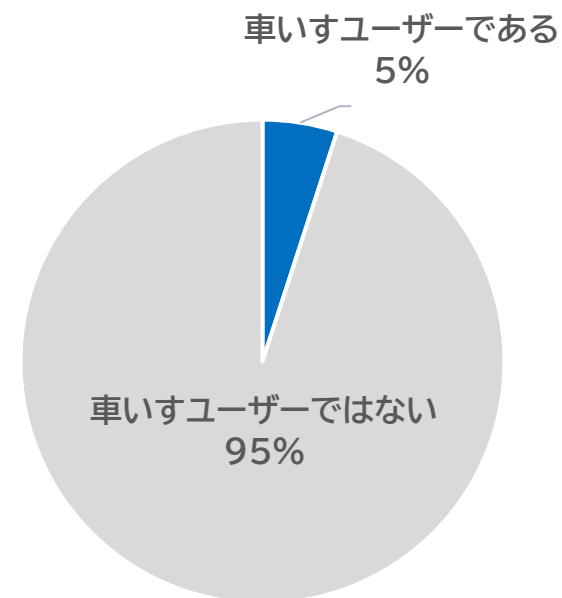
年代



障害種別(単一選択)



車いす使用有無



(n=2,602)

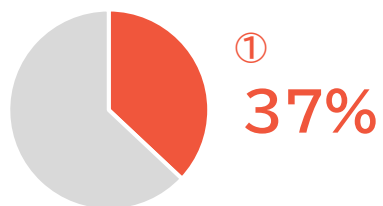
## 2. 総括



# 総括

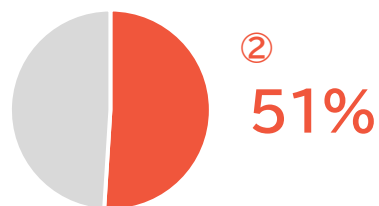
## 段差・隙間への恐怖心有無

Top2=  
強く恐怖を感じる+恐怖を感じる



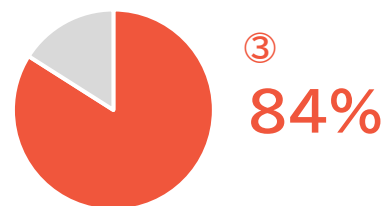
## 段差・隙間対策がない場合のサポートの必要性

Top2=  
強く必要性を感じる+必要性を感じる



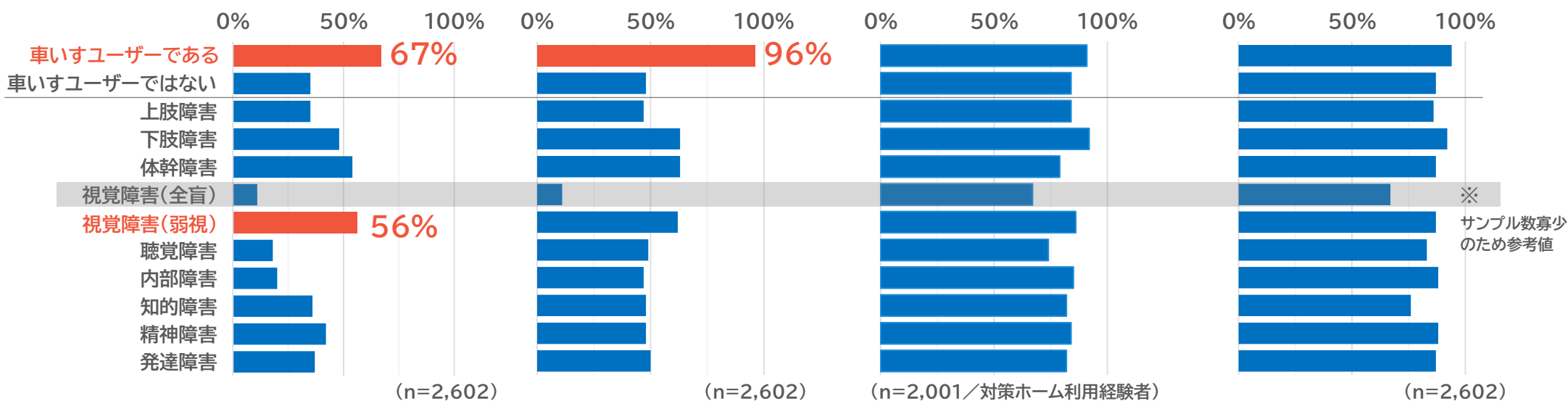
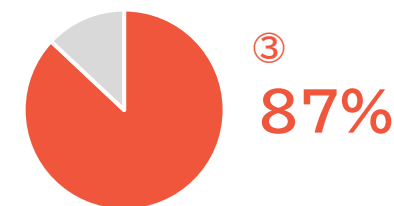
## 段差・隙間対策有無による乗降しやすさ比較

Top2=  
とても乗降しやすい+乗降しやすい



## 段差・隙間対策への意向

Top2=  
強く増えていって欲しい+増えていって欲しい



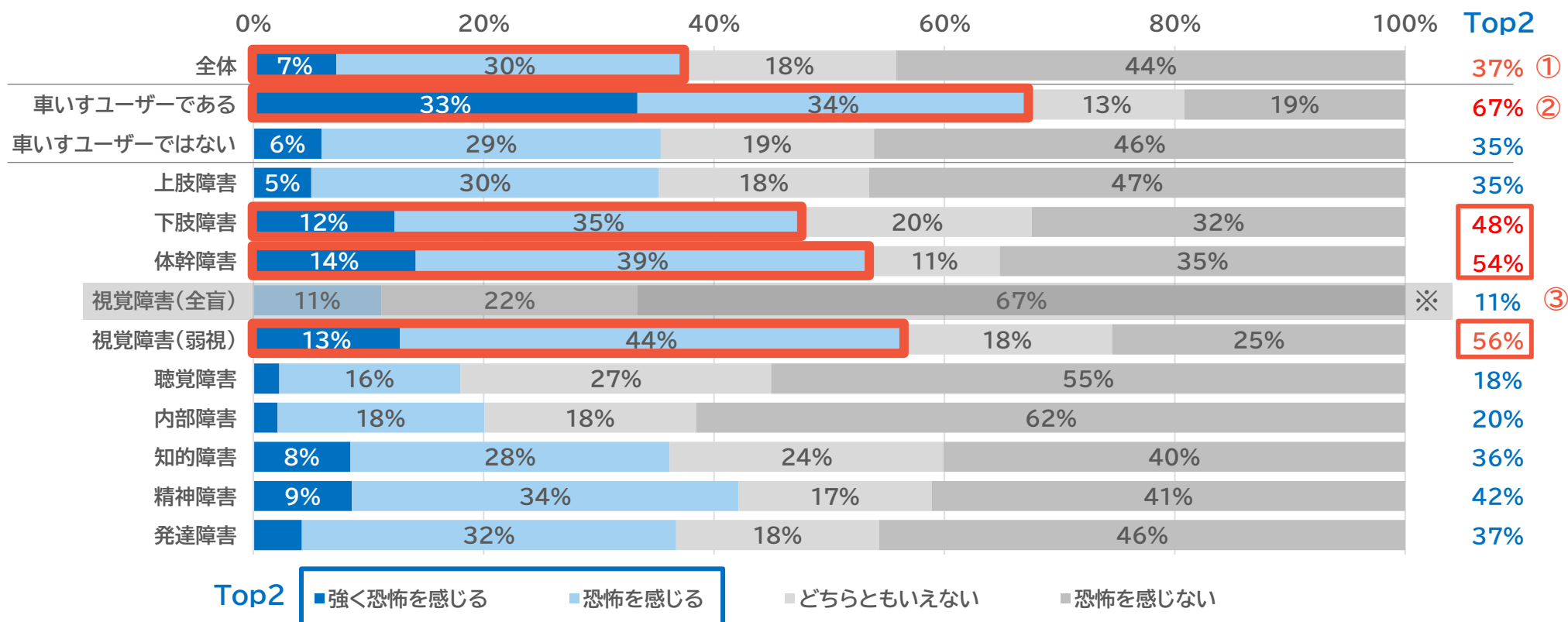
- ① 段差・隙間への恐怖心は、全体で約4割。車いすユーザーで67%、弱視の方で56%と高い。
- ② 段差・隙間対策がない場合のサポートの必要性は全体で約5割。車いすユーザーでは96%と顕著に高い。
- ③ 段差・隙間対策有無による乗降しやすさ比較は対策ホーム利用経験者で84%、対策への意向は全体で87%。属性による大きな差はなく、多くの方が段差・隙間対策を求めていると考えられる。

## 3. 調査結果

## 段差・隙間への恐怖心有無(×障害種別他)

- ① Top2(強く恐怖を感じる+恐怖を感じる)は、全体で合計37%である。
- ② 車いす使用有無で比較すると、車いすユーザーはTop2が67%と割合が多い。
- ③ 障害種別では、視覚障害(弱視)、体幹障害、下肢障害の順にTop2の割合が多い。

Q4. あなたは、電車に乗車する際、プラットフォームと列車との段差・隙間に対して恐怖を感じますか。

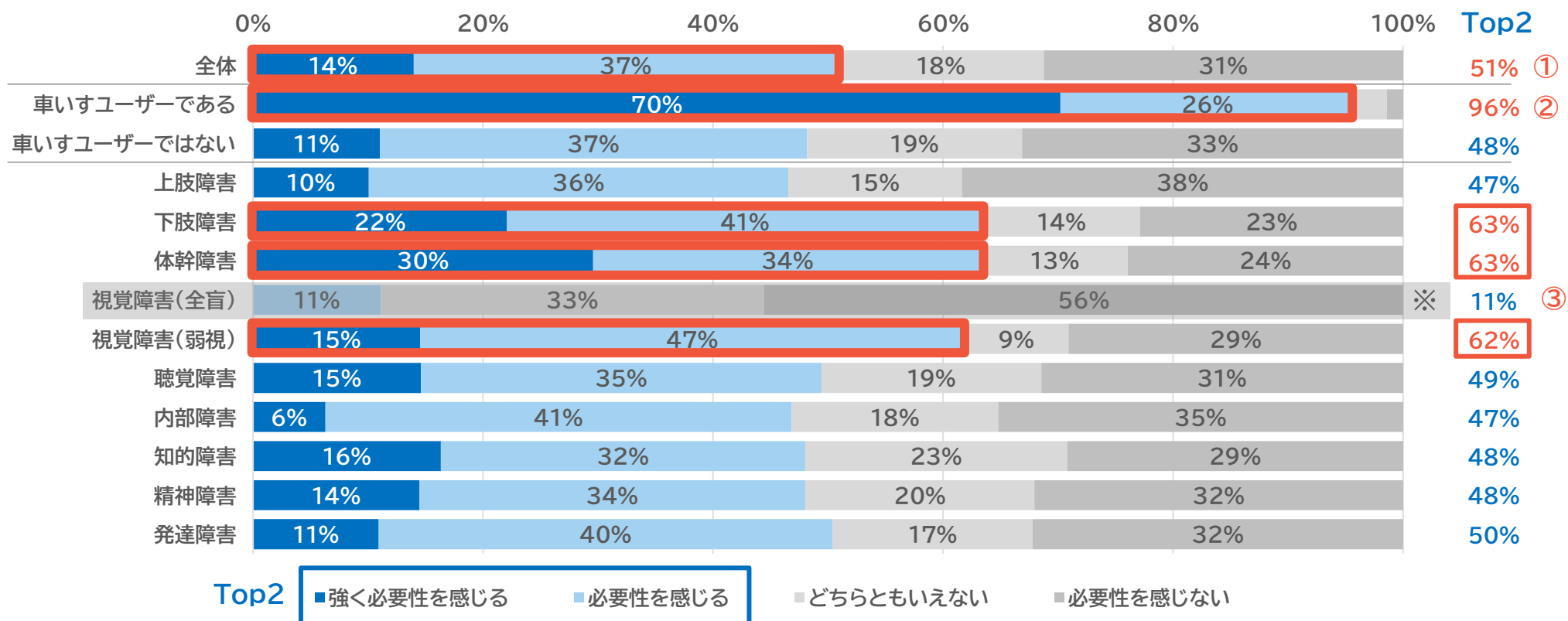


(n=2,602)※全盲はサンプル数寡少のため参考値/5%未満は%を非表示

## 段差・隙間対策がない場合のサポートの必要性(×障害種別他)

- ① Top2(強く必要性を感じる+必要性を感じる)は、全体で合計51%である。
- ② 車いす使用有無で比較すると、車いすユーザーはTop2が96%と、ほぼ全ての方がサポートを求めている。
- ③ 障害種別では、下肢障害、体幹障害、視覚障害(弱視)の順にTop2の割合が多い。

Q5. 電車の車両と駅ホームの段差・隙間対策がされていない場合、サポートが必要だと感じますか。

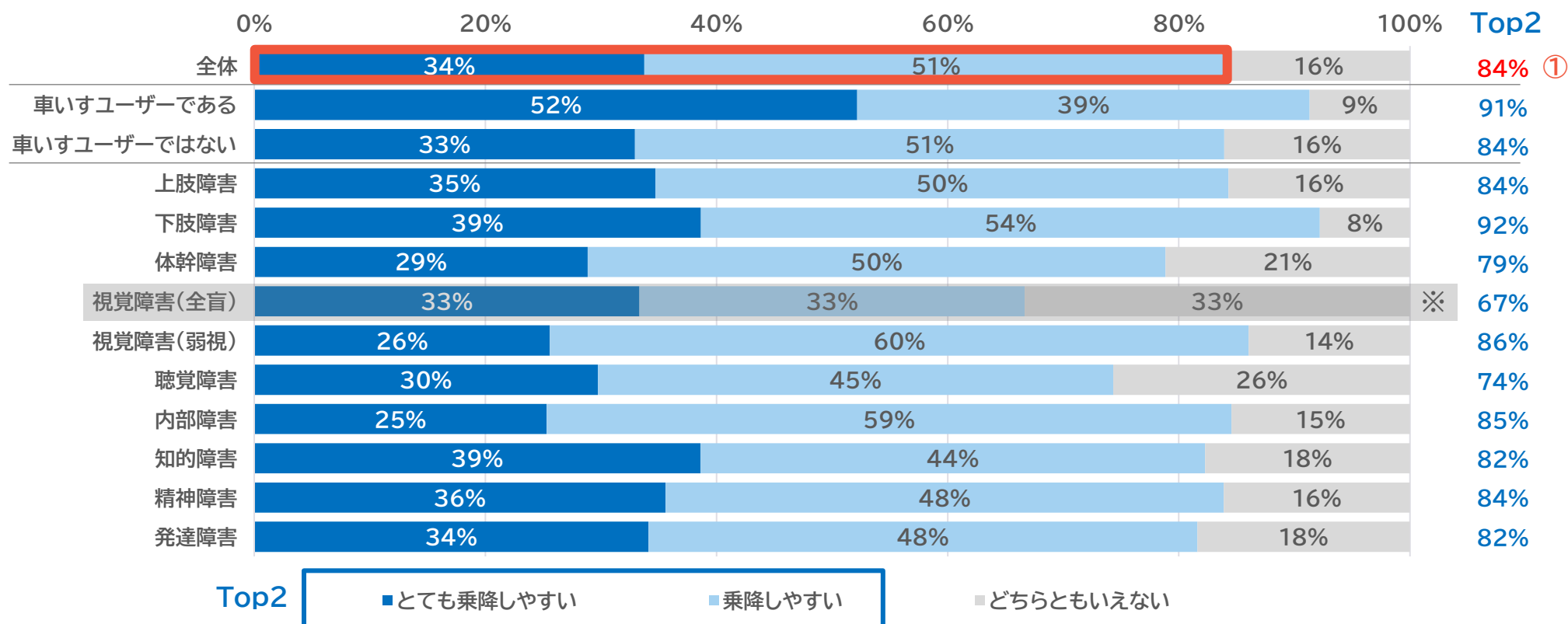


(n=2,602)※全盲はサンプル数寡少のため参考値/5%未満は%を非表示

## 段差・隙間対策有無による乗降しやすさ比較(×障害種別他)

- ① Top2(とても乗降しやすい+乗降しやすい)は、対策を行っているホームの利用経験者の内、合計84%である。
- ② 車いす使用有無や障害種別で大きな差はなく、多くの方が段差・隙間対策を求めていると考えられる。

Q6. 段差・隙間をなるべく無くすような対策を行っているホームでは、段差・隙間のあるホームに比べて乗降のしやすさは異なりますか。

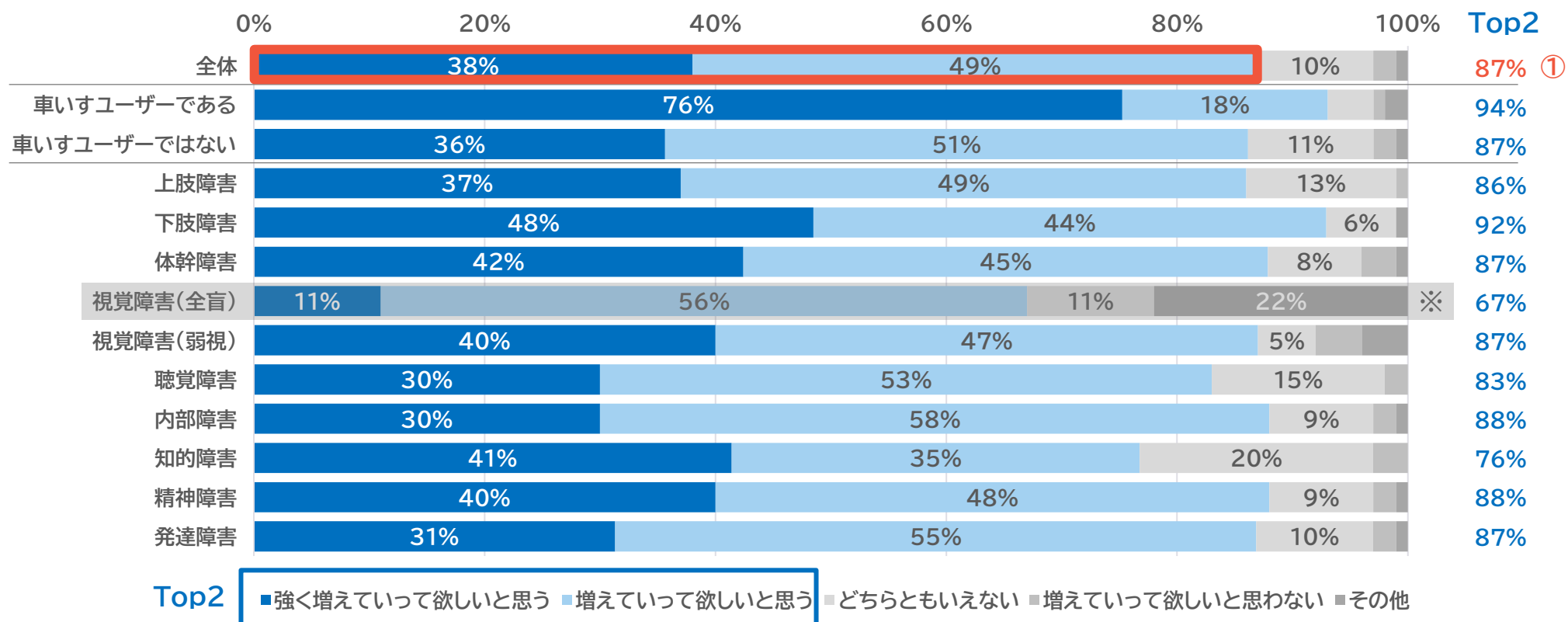


(n=2,001)※段差・隙間対策を行っているホームの利用経験者に限定／全盲はサンプル数寡少のため参考値

## 段差・隙間対策への意向(×障害種別他)

- ① Top2(強く増えて欲しいと思う+増えて欲しいと思う)は、全体で合計87%である。
- ② 車いす使用有無や障害種別で大きな差はなく、多くの方が段差・隙間対策を求めていると考えられる。

Q7. 今後、段差・隙間対策を行っている駅ホームの乗車口が増えて欲しいと思いますか。



(n=2,602)※全盲はサンプル数寡少のため参考値/5%未満は%を非表示



株式会社ミライロ

大阪本社…大阪府大阪市淀川区西中島3-8-15 EPO SHINOSAKA BUILDING 8F

東京支社…東京都品川区東五反田5-26-5 ニッセイ五反田駅前ビル 5F

福岡支店…福岡県福岡市博多区博多駅東2-5-19サンライフ第3ビル6F